

平成17年度の血漿分画製剤の需給状況

製剤名	換算規格・単位	製造・輸入量		③供給量	自給率(供給ベース)	
		①計	②うち国産原料		16年度	17年度
		上段:実績(達成率) 下段:需給計画	上段:実績(達成率) 下段:需給計画	上段:実績(達成率) 下段:需給計画		
アルブミン	25%50ml(瓶)	3,136,000 (102.9%)	1,374,900 (87.0%)	3,357,300 (99.3%)	50.2%	53.7%
		3,048,800	1,580,300	3,380,300		
乾燥人フィブリノゲン	1g	1,900 (95.0%)	1,900 (95.0%)	2,500 (125.0%)	100.0%	100.0%
		2,000	2,000	2,000		
組織接着剤	接着面積(cm2)	9,419,900 (81.7%)	3,665,900 (96.0%)	9,554,600 (98.5%)	40.7%	45.3%
		11,529,100	3,819,000	9,695,700		
血液凝固第Ⅷ因子(遺伝子組換え型含む)	1000単位(瓶)	322,400 (108.2%)	105,700 (102.3%)	291,000 (93.0%)	39.9%	39.3%
		298,100	103,300	312,900		
乾燥濃縮人血液凝固第Ⅸ因子(複合体含む)	1000単位(瓶)	38,400 (102.4%)	38,400 (102.4%)	38,900 (113.7%)	100.0%	100.0%
		37,500	37,500	34,200		
インヒビター製剤	延べ人数(人)	15,700 (112.9%)	0	13,000 (91.5%)	0.0%	0.0%
		13,900	0	14,200		
ヒト血漿由来乾燥血液凝固第ⅩⅢ因子	(瓶)	161,100 (95.9%)	0	132,300 (89.9%)	0.0%	0.0%
		168,000	0	147,100		
トロンピン(人由来)	10000単位(瓶)	38,900 (109.6%)	38,900 (109.6%)	40,700 (119.7%)	100.0%	100.0%
		35,500	35,500	34,000		
人免疫グロブリン	2.5g瓶(瓶)	1,347,200 (105.2%)	1,192,000 (107.0%)	1,398,900 (99.5%)	87.5%	88.6%
		1,280,800	1,114,300	1,405,900		
抗HBs人免疫グロブリン	1000単位(瓶)	17,000 (73.0%)	600 (100.0%)	19,700 (96.6%)	2.7%	2.6%
		23,300	600	20,400		
乾燥抗D(Rho)人免疫グロブリン	1000倍	1,900 (26.8%)	0	8,700 (96.7%)	0.0%	0.0%
		7,100	0	9,000		
抗破傷風人免疫グロブリン	250単位(瓶)	72,100 (81.4%)	0	78,300 (88.5%)	0.0%	0.0%
		88,600	0	88,500		
乾燥濃縮人アンチトロンピンⅢ	500単位(瓶)	402,300 (102.9%)	388,900 (103.2%)	398,600 (109.8%)	88.0%	94.9%
		391,000	377,000	363,100		
乾燥濃縮人活性化プロテインC	2500単位(瓶)	370 (37.0%)	370 (37.0%)	90 (23.7%)	100.0%	100.0%
		1,000	1,000	380		
人ハプトグロビン	2000単位(瓶)	45,500 (130.7%)	35,500 (136.5%)	44,000 (102.1%)	0.0%	46.7%
		34,800	26,000	43,100		
乾燥濃縮人C1-インアクチベーター	500倍(瓶)	860 (286.7%)	0	540 (120.0%)	0.0%	0.0%
		300	0	450		

注1. 数値は、製品の規格別に報告された数量を集計し、代表的な規格・単位に換算したうえ、四捨五入により100又は10の整数倍で表示した。

注2. 液状タイプの組織接着剤については、接着・閉鎖部位の面積当たりの使用量を勘案して換算し、インヒビター製剤については、体重50kgの人への投与量を標準として人数で算出した。